

菅官房長官は展示会場で復興メッセージ  
 日本の魅力を発信した「JAPANNIGHT」

「ツーリズムEXPOジャパン 2016」期間中の9月23日には、「観光先進国」に向けた政府による取り組みの先頭に立つ菅義偉内閣官房長官が展示会場を訪れて、内外から参加した出展者のブースを視察。熊本県のブースでは、今年4月に発生した熊本地震からの復興を願うメッセージも残しました。また、

菅官房長官は、来場者に寄付を募ってレゴ®ブロックで熊本城を制作する「レゴ®ブロックで応援熊本城」のコーナーにも立ち寄り、自らブロックに「熊本城は日本」と書き込んで、1日も早い熊本の観光復興への思いを託しています。



菅官房長官は、熊本県のブースで地震からの復興を祈るメッセージも残しています



JAPAN NIGHT「国際交流のタベ」で挨拶する石井国交相



「JAPAN NIGHT 2016」の開幕を鏡開きで祝いました



展示会場では「観光立国」に寄与することを目指すツアーگرانプリの表彰式も行われました(関連記事8ページ)



展示会場では菅官房長官が各国・地域のブースを回り、工夫が凝らされた展示などを熱心にご覧になりました



「ジャパン・ツーリズム・アワード」受賞者の皆さん



WTTCネットワーキングに出席した関係者



フランス観光開発機構による記者会見

法被姿のくまモンに喝采

今年の「JAPANNIGHT」では、日本橋・中央通りを舞台に、国内各地の祭り的人气を集めているパフォーマンスが繰り広げられました。小雨もぱらつく生憎の天候にも関わらず、沿道を埋めた一般来場者は、熊本「牛深ハイヤ踊り」で先頭に立つたくまモンに喝采を送るなど、初秋の気配も漂い始めた日本橋で、去りゆく夏の一夜に日本の伝統芸能などを堪能しました。



日本橋・中央通りでご当地キャラクターも加わり記念撮影



秋田竿燈や鹿沼彫刻屋台、牛深ハイヤ踊りなどが繰り広げられたパレード

# 注目集めた黒海沿岸6カ国ブース フランスのセミナーにはくまモンも登場

「ツーリズムEXPOジャパン2016」の展示会には、世界140の国・地域と国内47都道府県から1181の企業団体が出展し、それぞれに工夫を凝らしたブースでは様々な出会い

が繰り返されました。

JATAが「海外旅行復活の年」と位置付ける今年、海外部門の展示では、アゼルバイジャン・ペラルーシ・ブルガリア・ジョージア・モルドバ・ルーマニアの黒海

沿岸6カ国ブースを特集展開。日本ではあまり知られていない各国の奥深い魅力が発信され、地元ワインの試飲などには長い列ができるほどの人気でした。



ブルガリアのブース

黒海沿岸6カ国



ジョージアのブース



アゼルバイジャンのブース



展示会場では1000を超えるブースが展開



## ツーリズムテクノロジー

瞬時に表示される外国語を確認

翻訳アプリには来場者も興味津々



ブースでは技術的な質問も

2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催に向けて、最先端の技術により日本語と各国言語間のコミュニケーション・サポートツールを紹介する「ツーリズムテクノロジーゾーン」では、スマートフォンやタブレット端末などにインストールするだけで、話した内容を音声で外国語に翻訳してく

れる多言語音声翻訳アプリを、来場者らが興味深そうに体験していました。

また、今年、地震やテロなどの影響で旅行需要が減少している国や地域を支援するサポート企画も実施され、We Act for KUMAMOTO and FRANCEというスローガンのもと、熊本とフ

ランスを応援する取り組みも実施しました。

最終日の午後には、くまモンがフランス観光開発機構ブースのセミナー会場に姿を見せ、今年まで4年連続で訪問したパリでの体験を「くまモンのフランス旅行記」として紹介、サブライズ企画でフランス観光の復興を応援しました。

## "We Act for KUMAMOTO and FRANCE"



フランスのブースを訪れたくまモン



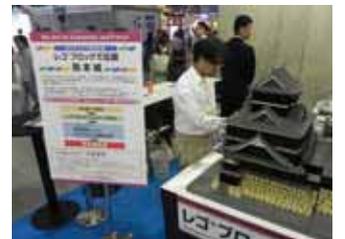
熊本応援企画のキックオフイベント



フランス・ブースでのセミナー



熊本県のブースにはお城とくまモン



制作中のレゴ®ブロックによる熊本城



展示会場ではフランス写真展も



熊本の復興を願うメッセージボード



海外からの出展者も熊本城に注目